

深伊沢小学校通信

鈴峰中学校区キャッチコピー

「地域とともにたくましくチャレンジする鈴峰の子」

深伊沢小学校 学校教育目標

「人と人のつながりを大切に、豊かな心でたくましくチャレンジする子どもの育成」

正門横松の木について

正門横の松の木に関して、昨年の秋から松の葉っぱが茶色くなり始めたため、鈴鹿市に松の木を残せるように相談しました。鈴鹿市の方で12月5日に樹木医さんにより注入剤を入れていただきました。その後、様子を見ていましたが、注入剤の効果がほとんどなく、3月、業者による剪定の機会に茶色になった葉っぱのみ落としていただきました。いまだにカミキリムシによる被害が拡大しつつあります。4月下旬になりあらためて鈴鹿市に相談したところ、このままにしておくとも最悪の場合には倒壊する恐れがあるとともに、周囲の木へ虫が飛んでうつることがあるとのことでした。万一、倒壊した場合には、最悪児童が倒木の下敷きになることが予想されます。また、周囲の木への虫被害が広がり、他の木も伐採を余儀なくされることが予想されます。

松の木と支柱の撤去をする場合には、多額の費用がかかることとなりますが、小学校の予算の範囲では賄いきれないのが現状です。そこで、鈴鹿市から、児童が臨時休業で不在のうちに伐採し、その費用を負担していただけたとのありがたいお話をいただきました。

長年にわたり地域のシンボルとして存在していた正門横の松の木ですので、非常に名残惜しいのですが、児童の安全には変えられないため、伐採という苦渋の決断に至りました。御理解いただきたく存じます。

伐採前に、10年ごとに撮影していた航空写真を撮影する予定だったのですが、予定していた5月27日(水)はコロナウイルス感染予防のため、集合写真を撮影することができず、やむを得ず2学期に延期しました。

昭和47年1月、現在の校舎への移転と同時に移設された名木ですが、時代の変化とともに姿を消すこととなります。伐採日は未定ですが、名残を惜しむ方が記念の写真を撮るなどできるように、6月以降をめどに日程調整をすすめています。日程が決まりましたらお知らせいたします。

コロナウイルスで運動する機会の減っている状況だと思います。3密を避けて、散歩しがてら松の木と対面していただくと嬉しく思います。

